

第2学年 国語科学習指導案

平成26年10月31日(金)

授業者 T₁

T₂

T₃

- 1, 単元名 どうぶつのひみつをみんなでさぐる
教材文「ビーバーの大工事」 東京書籍二下

2, 単元の目標

- 動物に興味をもって説明文を読んだり、動物のひみつについて調べたりしようとする。(国語への関心・意欲・態度)
- 事柄の順序や大事な言葉に気をつけて、ビーバーの大工事の様子を読み取る。(読む能力)
- クイズの問題と答えを考え、必要な情報を集め、動物のひみつクイズを書くことができる。(書く能力)

3, 学習の基盤

- 本単元は、学習指導要領C読むこと(1)イ「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」エ「文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」カ「楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。」を受けた内容であり、(2)ウ「事物の仕組みなどについて説明した本や、文章を読むこと」を通して、指導を行う。

本教材では、読み取ったことをもとにクイズを出し合う学習を行う目的意識をもってビーバーの大工事の様子を、大事な言葉や事柄の順序に気をつけて読む。そこで得た読む力を活かして、クイズの問題を作ったり、答えを他の本から探す活動につなげる。動物が好きで、科学的な読み物に興味をもち始めたこの期の児童にとって、教材文やいろいろな生き物に関する本を読む活動を通して、多くの情報を集め、選択する力の基礎を養うのに適した教材と考える。

- 一人一人の児童が、動物の秘密を図書館の本で調べてクイズを作る。そして、友だちが出したクイズの答えを、自分たちで本で調べて探すようにする。そのためにまず教材文「ビーバーの大工事」を、どこに何が書いてあるか確かめながら大工事の様子や、ビーバーの知恵を読み取る学習を行う。そして、児童相互にクイズを出し合ったり答え合ったりし、叙述に即して読みを深め合う。

本時では、児童が学習意欲や目的をもって主体的に学習に取り組めるように、教師がはじめにビーバーの大工事の様子をクイズにして児童に考えさせる。そしてそのクイズに答えるためには、教科書の文章をしっかりと読まねばならないことに気づかせていく。このことによって「ビーバーの大工事」を丁寧に読み取る。司書教諭はビーバーのひみつクイズを見本として提示し、児童の学習意欲を引き出すとともに、T₂として一斉指導では理解がむずかしい児童に補足説明をする。学校司書は、児童が興味をもちそうな動物の本を、市立図書館等も利用してたくさん準備して、児童がいつでも調べることができるようにしておく。また授業にも入り、適切な資料を提示し児童の理解を深める。このことにより一人一人の児童が、より主体的に取り組むことができるようにしたい。

4, 指導計画 (全18時間・・・本時1/18)

次	時	ねらいと学習	おもな評価規準
1	1 (本時) 2	「ビーバーの大工事」を読み, 今後の学習の見通しをもつ。 ・教科書の拡大写真を見ながら, ビーバーについて知っていることを話し合う。 ・教師が見本に作った「ビーバーのひみつクイズ」を考える。 ・範読を聞いたり音読をしたりして, 内容の大体をつかむ。 ・ビーバーのひみつクイズにしたいところを見つける。	・動物の生態に興味をもって読んだり, 動物のひみつクイズをすすんで調べたりしようとしている。(関心意欲・態度) ・ねらいを達成するためにどんな学習をするか見通しをもつことができる。(関心・意欲・態度)
2	3 ┆ 5 6 7	「ビーバーの大工事」から, 教師が出すクイズの答えを見つけるために, 大事な言葉や事柄の順序に気をつけて, 大工事を行うビーバーの様子や知恵を読み取る。 「ビーバーの大工事」を一人ずつ読んでクイズと答えを考える。 「ビーバーのひみつクイズ」を出し合う。	・「ビーバーの大工事」を読んで大体の内容を読み取り, 大事な言葉や文を書き抜くことができる。(読むこと1イオ, 2ウ) ・順序に気をつけて読み, 書かれている内容を正しく読み取っている。(読むこと1イ)
3	8 ┆ 15	動物や昆虫について調べ「どうぶつのひみつクイズ」作りをする。 ・自分で調べたい動物や昆虫を決める。 ・必要な本を選んで調べる。 ・「どうぶつのひみつクイズ」を作る。	自分が調べたい動物や昆虫について, 必要な本を選び「どうぶつのひみつクイズ」を作ることができる。(読むこと1カ・2オ) 必要な情報を集め, クイズを書くことができる。(書くこと1ア)
4	16 ┆ 18	クイズと解答用紙を「クイズしゅう」にまとめる。 ・友だちが考えたクイズの答えを必要な本を選んで調べる。 学習のふりかえりをする。	友だちが考えた「どうぶつのひみつクイズ」を読んで, その答えを調べることができる。(読むこと2オ) クイズや解答を読み合い, よいところを見つけて感想を伝え合うことができる。(書くこと1オ)

5, 本時の学習

(1) ねらい 説明文へ興味をもち, 今後の学習の見通しをもつことができる。
(国語への関心・意欲・態度)

(2) 学習の流れ (1/18)

時間	学 習 活 動	教師の支援と評価
5	○ビーバーの写真を見て, ビーバーが何をしているか考え発表し合う。 〔 ビーバーが木をかじっています。 ビーバーが泳いでいます。〕	・考える手がかりになるように, 教科書の写真を拡大して黒板に貼る。

10	○新しい教材文の範読を聞く。 ・「ビーバーの大工事」を読む。 ・T ₂ が本学習の終末のモデルを示し、出したクイズを考える。 (ビーバーのひみつクイズ)	・学習の見通しをもてるようにT ₂ がひみつクイズのモデルを示す。 ○T ₂ のひみつクイズの答えを考えるため、文章の中の大事な言葉や文をさがしながら読む。(読むこと1エ)
10	○T ₂ のクイズの答えを解答用紙に書く。	・机間巡視をしながら助言をしていく。
15	○大事な言葉に気をつけながら答え合わせを行う。 ・T ₃ の補足説明を聞く。	・写真や具体物を見せながら、大事な言葉をおさえていく。
5	○今後の学習の見通しをもつ。 ビーバーのひみつクイズを作るためにどんな学習をしていくと良いか計画を立てる。	・児童から意見が出ない場合は教師が提案する。 ・これからの学習内容を書き出し、学習の流れがわかるようにする。

(3) 本時の評価

	十分満足できる	おおむね満足できる	支援を必要とする児童への指導の手立て
読むこと	「ビーバーの大工事」からクイズの答えを読み取る活動を通し、今後の活動の見通しをもつことができる。	クイズの答えが本文のどこに書いてあるか読み取り、今後の学習の大体の流れが分かる。	T ₂ の示したクイズの答えにつながる写真を示し、「どこが」「どうなっているか」「なんのために」などの助言をし、思考の手助けをする。

(4) 研究の視点

T₂が示したモデルのクイズを考え合うことは、説明文へ興味をもち、学習の見通しをもつことにつながったか。